

わたしの 妊娠報告書

記載日 2021 年 1 月 18 日

おめでた宣言日	2020 年 3 月
年齢 (33) 歳	平成 () 年 (11) 月 結婚
私は (顕微授精)	で妊娠しました。

不妊治療歴
(2) 年 () ヶ月
他院での治療歴
☒ なし あり→内容 ()
ASKA での治療歴
一般不妊治療
☒ 自然排卵 タイミング法 () 回
☒ 排卵誘発 タイミング法 () 回
☐ 自然排卵 +人工授精 () 回
☒ 排卵誘発 +人工授精 () 回
生殖補助医療
☐ DOST 法 () 回
☐ 体外受精 () 回
☒ 顕微授精 (/) 回

妊娠の秘訣・心がけていた事

- ・身体をあたためる
- ・少しでも前向きな気持ちを心がける
- ・自分を思いやること (←難しいです)

わたしの 妊娠報告書

治療にまつわる苦労話し

治療内容

治療方法は説明をして頂いているので理解できているのですが、実際には自分で自己注射をする、定期的に飲み薬をのむ等は、仕事をはから続けていくのはしんどい、です。

その他（通院・治療費・家族など）

通院の付き添いにもなかなか来れず、実際に治療することもない。天には、治療を続けていく辛さは理解してもらえませんでした。

治療中の方へのアドバイス

治療中は、女性側の負担がどうしても多くなり、男性(天)は精神的、肉体的なしんどさとなかなか理解できないものだと思います。実際に私の夫もそうでしたが、辛い事やしんどい事等を言葉にして積極的に相手に伝え、少しでもわかってもらう事が治療継続のカギだと思います。

スタッフへのご意見など

正直、最後の方は精神的に限界が近づいていました。

天にもしんどさを理解してもらえず、治療をやめようかと悩んでいた時に、看護師さんに「頑張れ、てえもんね」と言われた事で、今までの頑張りを認めてもらった気持ちになり、大泣きしてしまいました。その一言で後少し頑張ろうと思えた。続けて良かったです。夫以上の理解者や(笑)にこんな助けがあったらいい。まじ。